

令和8年1月1日

立教189年

新春号
第640号

字(うに)仁

発行所

天理教字仁大教会
〒677-0015 西脇市西脇770-4
電話 0795(22)4066番
FAX 0795(22)4072番
unigrandchurch@yahoo.co.jp

立教189年

謹賀新年

1月26日

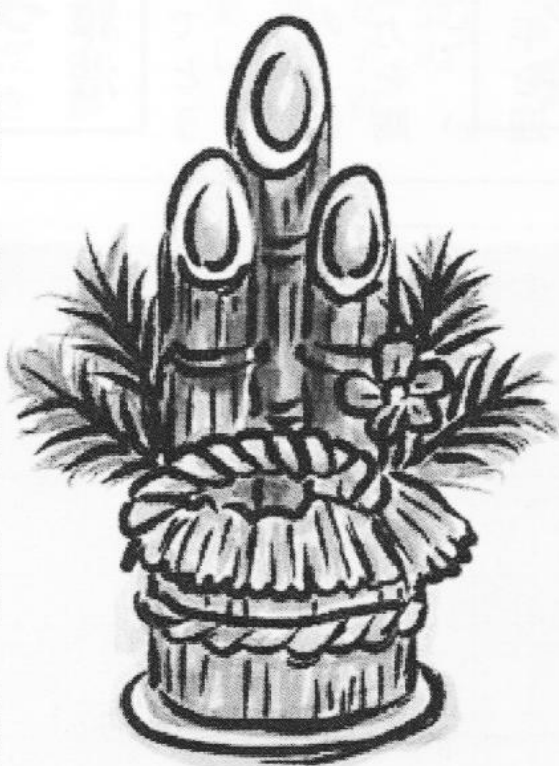
教祖百四十年祭



散歩道

今年の干支は午(うま)。十干(じっかん)と合わせて丙午(ひのえうま)の年になります。これは六十年に一度巡ってくる特別な年だそうで、力強さや前進、成功の象徴とされ、新しい挑戦や運氣上昇に良い年であるそうです。

「丙」は陽の火、「午」は季節でいうと火が最も盛んな時期(夏)を指し、非常に強力な火の性質を持つ年とされています。火の性質とえば、十全の守護では「をもたりのみこと」様の守護を指し、人間身のうちのぬくみ、世界では火の守護の理とされます。今年は温かい心、思いやりの気持ちを意識して通らせていただきたいと思います。



新年のご挨拶

宇仁大教会長

神田美香子

明けましておめでとうござ
います。

昨年は『教祖百四十年祭』年
祭活動三年千日の仕上げの年と
して「毎月団参」を開催し、た
くさんの方々におちばにお帰り
いただき、誠にありがとうございました。

教祖の年祭は、世界一列を救
けて陽気ぐらしの世界を実現す
るために、心の成人を進める節
目である、とお聞かせいただいた
しております。長い道程を歩む中
の一つの一里塚であり、その道
しるべとして十年ごとの節目に
改めて心をついにし、それぞれ
の持ち場立場からご尽力ご丹精
いただきました。

真柱様は、昨年の秋季大祭の
ご挨拶で「つとめたらつとめた
だけのご守護は現れてくる。ま
た、いましつかり動いたことは、
これから先の歩みのための種ま
きである。力いっぱいつとめた
という充実感と喜びをもって年
祭を迎えることができるように、

最後まで勇んでおつとめくださ
るように願いたい。」と締めくく
られました。

年祭を目指して、これまで励
んできた歩みを、これからも生
かしていかねばなりません。三
年千日の中で蒔いた種が実を結
ぶことができるよう、一生懸命
つとめさせていただきたいと思
います。そして年祭の当日を、
晴れやかに迎えさせていただき
ましょう。

どうか皆様方には、教祖にお
喜びいただける日々を歩んでい
ただき、次なる塚へと繋がって
いく精一杯の一步を踏み出せる
年になりますよう、本年もよろ
しくお願い申し上げます。

年頭のごあいさつ

布教部長 笹倉雅浩

新年明けましておめでとう
ございます。

昨年は布教部の活動の上に
一方ならぬご理解とご協力を賜
り誠に有難うございました。い
よいよ教祖百四十年祭の年を迎
えました。

布教部といたしましては、
「教祖と歩む三年千日」を合言
葉に十五日の戸別訪問、大教会
月次祭後の神名流しを活動の中
心におき、布教推進講習会や布
教研修会など、宇仁につながる
教会長、よぶくの布教実働の活
性化をはかつてまいりました。

教祖百四十年祭の年を迎え
た本年は、教祖が何よりもお喜
び下さる布教実働に一人でも多
くのようなぶくが参加されますこ
とを願いつつ、年祭を終えてか
らもこの三年千日で培った布教
の動きが止まらぬよう、次の塚
を見据えた活動を展開していく
予定でございます。

今後布教部の上に皆様の
お心をお寄せいただくことを心
よりお願いいたします。

立教百八十九年 神殿講話(予定)

1月	大教会長様	7月	原田道彦(高鹿喜)
2月	片山保一郎(泉東仁)	8月	布教推進講話
3月	藤原福雄(日下)	9月	横山昇節(貴船)
4月	高瀬仁史(大西脇)	10月	世話人先生
5月	縦の伝道講習会	11月	寺尾真木夫(豊原)
6月	遠藤孝廣(西脇)	12月	田尻圭右(神福)



一理塚

一年の始まりである一月は、暦の上ではただ最初の月ということになります。信仰の上から見ますと、特別な意味を持つ月であると感じます。

一月は「始まりの月」であると同時に、「心を定める月」ではないでしょうか。年が改まり、新たな気持ちで出発しようと誰もが思うこの時期は、親神様から私たちに与えられた大切な節目であると思います。

教祖は、人間は陽気ぐらしをするために生まれてきたのだとお教えくださいました。しかし、陽気ぐらしは、ただ楽しく過ごすということではなく、日々の出来事を通して心を磨き、互いに助け合いながら進んでいく生き方であります。一月は、その陽気ぐらしへの道を、改めて見つめ直すための出発点であると言えるでしょう。

私たちは、年が変わると「今年こそは」と、さまざまな思いを胸に抱きます。けれども、その思いがいつの間にか薄れ、忙

しきや慣れの中で、元の通り方に戻ってしまうことも少なくありません。一月という月は、そのことに気づかせていただき、「今、どのような心で通っているのか」を問いかけてくる月でもあります。月日の流れの中で、心が緩んでいないか、親神様にお任せする心を忘れていないか、静かに省みる時間を持たせていただきたいと思います。

また一月は、「土台をつくる月」でもあります。家を建てる時、土台がしっかりしていないければ、その上にどんな立派な建物を建てても長くはもちません。信仰の歩みも同じで、一年の最初に心の土台を整えておくことが、その後の通り方を大きく左右します。つとめを大切にし、感謝の心を忘れず、できることから誠を尽くしていく。その小さな積み重ねが、一年を支える確かな土台となっていくのです。さらに一月は、「勢いをつける月」でもあります。寒さの厳しい時期ではありますが、草木は春に向けて静かに力を蓄えています。私たちも同じように、

外からは見えなくとも、心の中に力を蓄える時期として一月を通らせていただきたいと思います。すぐに結果を求めるのではなく、親神様のお心になう通り方を心がけることで、やがて大きな実りへとつながっていくのではないのでしょうか。

一月をどのような心で通るかによって、その年全体の流れが決まってくると言う言い過ぎでしょうか。

一日一日を大切にし、この一月を、心を整え、勇んで出発する月として通らせていただきましょう。その積み重ねが、やがて陽気ぐらしの実感となつて、私たちの身の上に現れてくるものと信じています。

こかんさまに続く会

十一月九日（日）大教会の一斉団参に合わせ、宇仁女子青年こかん様につづく会を開催し六名の女子青年が参加しました。

教会本部でのお願いづとめ参拝後、お茶所で昼食をいただきました。

その後、周海分教会、福江先生のおかえり講話を聞かせていただきました。講話では、おちばに帰らせていただけることのあるありがたさや低い心で相手の身になりおたすけさせていただくことの大切さを学び、和やかな雰囲気の中、会を開催させていただきました。

来月の教祖百四十年祭へ向け、また来年十一月一日には女子青年大会が開催されます。女子青年のみなさんで勇んで通らせていただけたらと思います。また、毎月例会やひのきしんも実施しています。どなたでもお気軽にご参加ください。お待ちしております！



大教会毎月団参

実施報告(十二月)

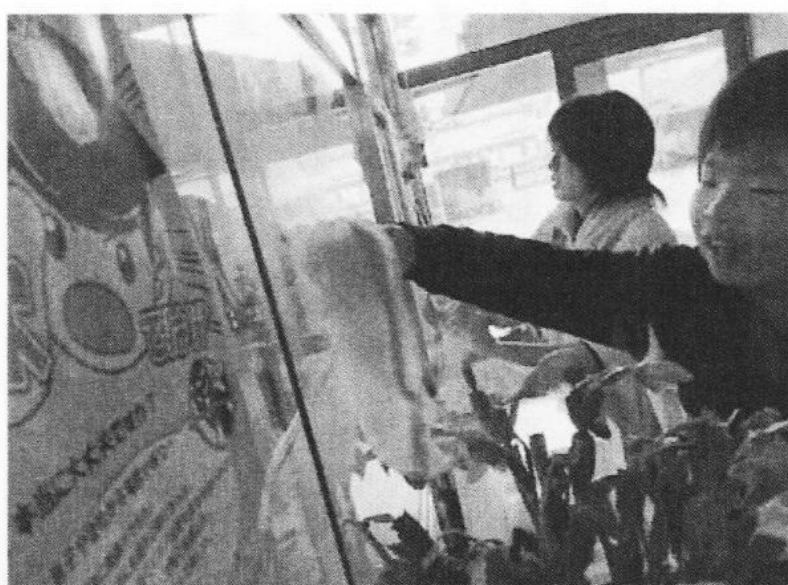
教祖百四十年祭三年千日の活動もいよいよゴールが見えてきた中、去る十二月二十一日、最後となる宇仁大教会一斉団参を実施させていただきました。当日はあいにくの雨天ではありませんでしたが、五十六名の方々がご参加くださいました。

十一時三十分より本部お願いづとめを勤めさせていただき、その後、教祖殿にておやさまにご挨拶を申し上げ、祖霊殿を参拝いたしました。



昼からは十三時三十分より、詰所の窓ガラス拭きや照明器具の掃除のひのきしんをさせていただき、隅々まで大変きれいになりました。

お正月、そして教祖百四十年祭を清々しい気持ちで迎えらることに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



〈参加者〉

帰参者…五十六名

ひのきしん参加…五十一名

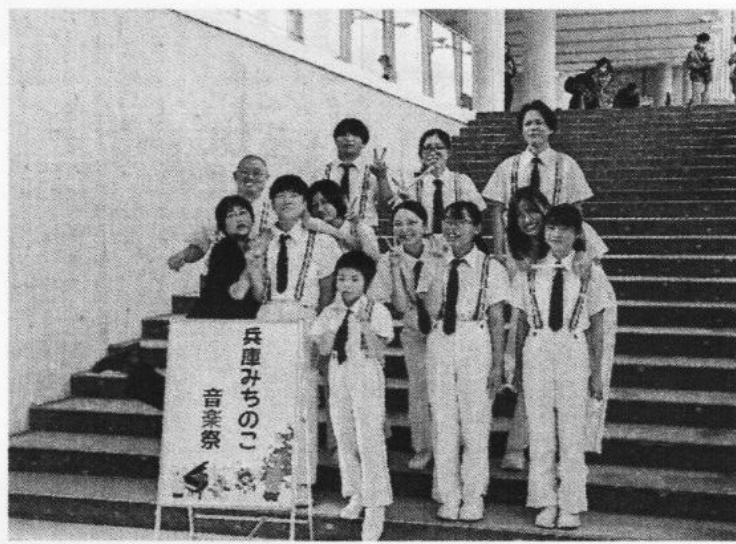
別席者…四名

大教会毎月団参 参加者数報告(1~12月)

開催月	参拝者数	午後の部参加者数	別席
1月	※1月は、お節会のため参加者数の把握ができていません。		
2月	37	19	不明
3月	76	66	7
4月	72	56	5
5月	43	34	2
6月	86	45	不明
7月	47	40	4
8月	45	28	5
9月	65	43	3
10月	50	44	1
11月	120	113	5
12月	56	51	4
合計	697	539	36

みちのこ音楽祭の演奏の様子は下記の QR コードからダウンロードして閲覧してください。

(閲覧期限は約30日です)



先日、十二月十四日、神崎郡市川町ひまわりホールで開催された、兵庫教区の第三回みちのこ音楽祭に出演しました。

ウーニーバンド
みちのこ音楽祭出演!!

立教百八十九年 散歩道・一理塚 執筆担当

散歩道

1月	杉原谷	7月	和道
2月	大西脇	8月	中河合
3月	福重	9月	豊原
4月	小野町	10月	杉原谷
5月	國延	11月	大西脇
6月	道延	12月	福重

一理塚

1月	國延	7月	大西脇
2月	道延	8月	福重
3月	和道	9月	小野町
4月	杉原谷	10月	國延
5月	豊原	11月	道延
6月	中河合	12月	和道

立教百八十九年 大教会炊事当番

1月	神福B	7月	中河合
2月	中河合	8月	豊原
3月	豊原	9月	神福A
4月	神福A	10月	直属
5月	直属	11月	神福B
6月	神福B	12月	中河合

教祖百四十年祭の詳細は以下の URL または QR コードからアクセスしてご確認ください。

<https://www.tenrikyo.org/oyasama140nensai/>



公式 HP



おちばがえり案内



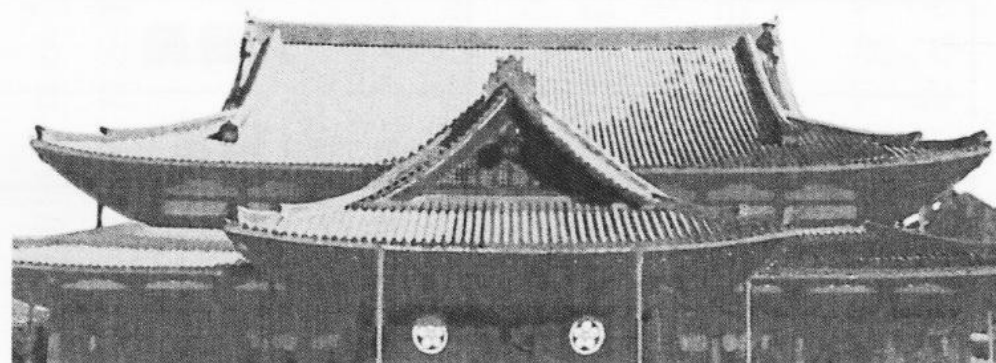
おやさとマップ



教祖百四十年祭

立教189年
金暦年: 2026年
1月26日(月)
午前10時30分

心一つに、おちばへ――



おちば通信

十一月のうきき

◎初席者

豊原

藤原久代

松岡良季

◎おさづけの理拝戴

道延

畑中愛理

◎教人資格講習会修了

豊原

高島絵美

◎教人登録

豊原

有澤秀則

◎をびや許し

中河合

澤田実沙紀

◎十一月帰参者

(詰所調べ)

二七五名

一月行事予定表

1日 元旦祭

5、7日 お節会

6日 青年会初例会

9日 婦人会初例会

15日 布教実動日

22日 少年会初例会

24日 大教会春季大祭

午前10時30分執行

26日 教祖百四十年祭

午前10時30分執行

編集部より

この文章が目止まるのは教祖百四十年祭直前でしょうか。それとも年祭当日が過ぎた頃でしょうか。とにかく三年千日を一生懸命お通りいただきお疲れ様でした。いろんな日があったと思いますが、大きな節目を迎えそれぞれに感想をお持ちであろうかと思ひます。年祭は一里塚であって次の十年がスタートする日でもあります。これまでを振り返るとともに先を楽しみに心新たに勇んで通らせていただきたいものであります。

(宇仁会報担当 今中)

婦人会より

◇大教会炊事当番

1月 神福B

2月 中河合

3月 豊原

よろしく

お願いします